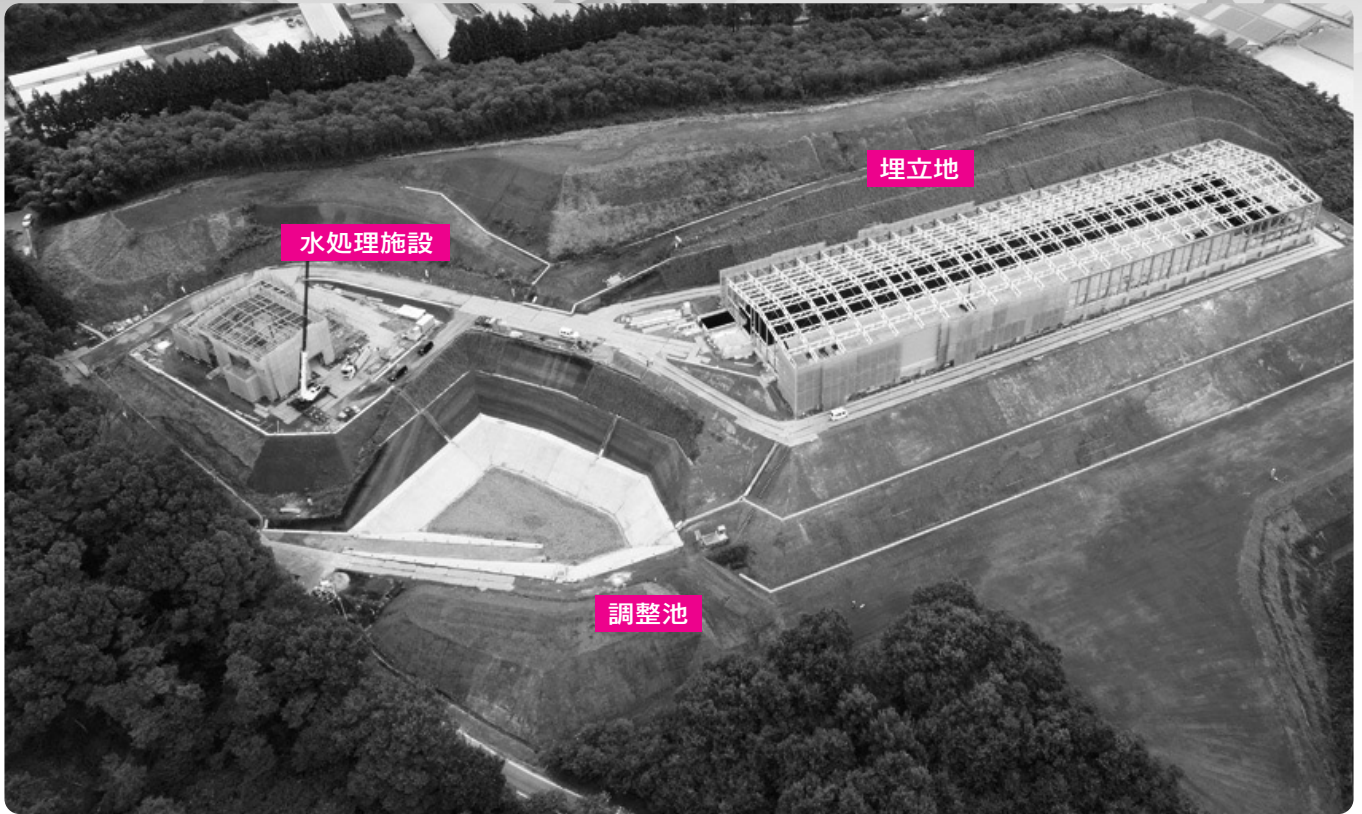


令和4年4月供用開始 共同一般廃棄物最終処分場の整備が進んでいます(吉田地区) 名称は「那須グリーンネクサス」に決定

～緑がつながり、那須の自然が守られていくという意味が込められています～



令和3年10月22日撮影 (那須地区広域行政事務組合提供)

▶水処理施設…廃棄物に触れた水を適切に処理し循環利用します



完成予定図

▶埋立地…上を屋根で覆い廃棄物の飛散や臭気の拡散を防ぎます



完成予定図

▼問合せ
○那須地区広域行政事務組合
☎0287・65・3611
<https://www.nasukouiki.or.jp>

那須町と大田原市の家庭から出るごみは、一般廃棄物として収集・運搬され、「広域クリーンセンター大田原」(大田原市若草)で焼却処分されています。焼却処分によって最終的に発生する焼却灰等は、焼却残さとして「黒羽グリーンオアシス」(大田原市川田)に運搬され、埋立処分されています。平成9年度から埋め立てが始まった同施設は、令和3年度末で期限を迎えます。

この施設は、那須町と大田原市の家庭から出るごみの焼却灰等を埋立処分する施設で、埋立容量は5万1千m³、埋立期間は15年間を想定し容量が満杯となるまでとしています。

平成29年に建設地が決定し、同年8月には地元自治会と同組合が環境保全協定を締結、令和2年3月から建設に着手しました。同組合では、廃棄物を安全に封じ込め、廃棄物に触れた水が周辺環境に影響を与えないよう、安全・安心な施設を目指し整備を進めています。